

東日本大震災から 10 年を迎えるにあたって

今年の 3 月 11 日、わたしたちは東日本大震災から 10 年を迎えます。あの日、大地震で倒壊した家屋、津波にのみこまれる街、原発の爆発など、目を疑うような状況が次々とテレビで伝えられる中、わたしたちは途轍もない不安と恐怖におののいていました。

あの震災は未だ人々に影響を与え続けています。復興庁が今年 2 月 26 日付けで公表した資料によると、東日本大震災による避難者は全国に 41,241 名おられるとのこと。新潟、山形、秋田各県にも大勢の方が避難しておられます。福島では現在も、7 町村が帰還困難区域に指定されています。故郷を奪われ、いつ帰ることができるのかわからない状況で 10 年も避難生活を送り続けてきた人々の気持ちは察するに余りあります。

わたしたち新潟教区は仙台教区の隣人として、発災直後から祈り、ボランティア、物品購入、支援物資や募金などによる支援を行ってきました。何より大切なのは、隣人として寄り添う姿勢であったと思います。わたしは当時仙台教区サポートセンターで仕事をしておりましたので、新潟教区の皆様の祈りと支えがどれほどありがたいものであるか、身にしみて感じておりました。この機会に皆様に感謝するとともに、その取り組みに敬意を表したいと思います。

ここにまとめられた活動報告を通して、わたしたちはこれまでの活動を振り返り、また隣人としてこれからも教区、小教区、修道会のレベルで様々な形の交流を続けていくための学びになればと希望しています。

2021 年 3 月 11 日

カトリック新潟教区 司教
パウロ 成井大介

2011 年～2020 年 教会別支援活動の概要

【凡例】	物資支援	●
	募金・寄付	●
	避難者生活支援・交流	●
	農水産加工品販売／購入	●
	イベント開催・啓発	●
	現地訪問・現地ボランティア	●
	活動支援	●
	共同体での祈り	●

		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
秋田地区	秋田教会				●			●	●	●	
								●	●	●	
					●					●	
	土崎教会								●	●	●
	聖霊会								●	●	
									●	●	
									●	●	
	聖心の布教姉妹会								●	●	
									●	●	
山形地区	酒田教会				●					●	●
										●	●
										●	●
	鶴岡教会										
	山形教会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
										●	●
	新庄教会	●	●								
	オタワ愛徳修道女会 山形修道院				●	●	●		●		●
					●	●	●				
					●	●	●			●	
					●	●	●			●	
					●	●	●		●	●	●
					●	●	●		●	●	●
新発田地区	三条・加教会				●	●	●	●	●	●	●
	栃尾教会								●		
	新津教会						●				
								●			

		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
新潟地区	青山教会			●	●		●	●	●	●	●
				●	●	●	●	●	●	●	●
		●				●					
		●									
	亀田教会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	白根協会							●	●	●	
								●	●	●	
	寺尾教会			●	●	●	●	●	●	●	●
				●	●	●	●	●	●		●
				●	●	●	●	●	●	●	●
				●	●	●	●	●	●	●	●
	新潟教会	●				●					
		●			●	●	●	●	●	●	●
					●	●	●				●
		●			●	●	●	●	●	●	●
		●					●				
						●	●	●	●	●	●
		●	●			●					
	花園・鳥屋野教会				●	●					
						●	●	●	●	●	●
							●	●	●	●	●
					●	●	●	●	●	●	●
	新潟地区信徒使徒職 協議会	●	●	●	●						
						●	●				
								●			
	新潟カトリック女性 の会			●	●						
		●		●							
				●	●		●				
	青年会有志				●		●				
						●					
	新潟からし種の会		●	●	●	●	●	●	●	●	●
			●	●	●	●	●	●	●	●	●
	新潟 月曜会			●	●	●	●	●	●	●	●

		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
長岡地区	柏崎教会				●	●					
									●		
						●	●				
					●	●	●		●		
					●		●		●	●	●
	高田教会					●	●	●	●	●	●
				●	●	●					
						●					
						●					
						●	●	●	●	●	●
	直江津教会									●	
										●	
	長岡教会				●	●					
						●					
						●					
					●	●					
	聖マリア在俗会						●	●		●	
							●	●		●	

※ 教会によっては、実際に支援活動が実施されていても、教区への報告の取りまとめ時点で把握できていない、または、その他の事情により、報告がなされていない場合、上記の一覧に反映されていないことがあります。そのような場合であっても、教区として把握できた場合にはできるだけ反映するようにしてあります。

～＊～10年間の歩みを振り返って～＊～

この10年間の支援活動を振り返って、コメントをお寄せいただいた教会、グループからの声をご紹介します。なお、ここに記載されている情報は2021年1月現在のものです。



酒田教会

- ① 初期の物資支援、支援団体を通じた義援金出捐等行ってきましたが、なによりも現地のサポートセンターやベースの方々の献身的な支援活動に対して感謝の気持ちを皆で共有してきました。
- ② 特に、2013年4月14日に菊地司教様が当教会で講演された折『被災地の信徒から「もう私たちは忘れられているみたい」と言われてとてもショックでした。今後とも手を差し伸べる教会であってほしい』とお言葉が印象的でした。
- 物質的な支援もさることながら、「決して忘れない」思いを込めてこれからも「東日本大震災ならびに他の災害被災者のための祈り」を継続していきたいと思えます。

10年という時間の経過の中で、共同体として目標をかかげての活動はしてきませんでした。

しかし、自分は何をしてあげられるだろうかと思い、個人的に支援を続けておられる信徒がおられるのではと思います。



鶴岡教会



山形教会

2011年10月より11日に近い日曜日に「福島やさい畑」の支援の募金を行い「福島やさい畑」に送金支援をしています。

2020年は公開ミサが中止になった為、支援金が不足になりミニバザーによる献金で送金支援献金をしました。

振り返っての特記事項ではありませんが、被災地に本部があるため、大ぜいの方々から助けて頂いたという意識が会員全体の中にあり、ありがたさを感じている、その後の震災には無意識に何かをしなければという思いが走ります。高齢化と共に、活動の動きがせばまってきているが、自分たちが出来る支援を行っていかうとする意識は十分あります。



オタワ愛徳
修道女会



三条教会
加茂教会

両教会ともこれといった大きな事項はありませんが、この10年の間に東日本大震災をはじめその後も頻発している自然災害や事故、事件の被害者を思いやり、特に主日のミサの中で祈る機会が増えたことは確かです。また三条教会には2004年の7・13 水害で被災した信徒や家族の突然死を体験した信徒が数名おり、ここから同じように苦しむ人々への共感や連帯の意識を育て、自身の信仰とつなげていくことを皆で心がけていきたいと思っています。

この十年のあいだ、青山教会としての東日本大震災への取り組みを報告させていただきました。やはり、正直、最近の数年は活発な行動はなくなり、次第に自分たちの教会のことでいっぱいになってしまっている現状を、この報告書を書くうちに実感しました。これから、できることは何かを話し合っていきたいと思っています。



青山教会



寺尾教会

10年間、上記の活動（寄付・祈り）を継続して行なっている。
ただ、昨年度はコロナ禍で外部（幼稚園・地域）に発信できなく、残念であったが、例年並みの寄付が出来たのは、10年間の支援活動が浸透した成果の表れであり、また、祈りによって、被災地や被災者に思いを寄せ続け、それが支援活動の力となった。

小教区として震災発生直後から被災者のための祈りやカリタスジャパン献金の呼びかけを行いました。その他に、被災地サポート活動講演会や福島県産品の販売会などを開催しました。バザーは複数回実施し、その収益を復興支援活動団体へ寄付しています。

また、青年会や複数の信徒グループがそれぞれ被災地へ訪問したり、独自に、物資支援、チャリティコンサートの開催、販売会等の収益金を寄付する等の活動を行っています。特に、新潟からし種の会（NPO法人福島やさい畑の支援）への参加や、毎週日曜日のコーヒーコーナー・東大畑茶寮（スイーツ・惣菜販売）は、長年にわたり現在も継続して行われています。

2020年はコロナ禍でバザーやコーヒーコーナー・東大畑茶寮の実施が困難な状況でしたが、何ができるか知恵を絞り、新潟地区の他教会にも協力をいただきながら、販売会や募金活動による支援金の送付を途切れることなく継続的に活動ができたことを感謝します。



新潟教会



花園教会

- ・2020年3月からはコロナ禍のため公開ミサが原則中止とされ、感染症対策が対応すべき課題として急に前面に現れてきた。課題が重畳してきている印象。
- ・個人的支援はコロナ禍に関わらず継続している。

2011年から2017年までに合計8回の東日本大震災復興支援活動を行いました。

2018年以降は新潟地区信徒使徒職協議会の活動として行っていません。野菜販売、加工食品の販売は事前予約や商品の配布など地区でまとめることは困難であり、教会ごとでバザー等の機会を通じて行うことになりました。



新潟地区信徒使徒職協議会



新潟カトリック女性の会

新潟カトリック女性の会では、震災当初、被災地の状況を知ることから始め、祈りを通して被災地を忘れないように努めてまいりました。残念ながら2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防の観点から活動することはできませんでしたが、講演会実施、カトリック二本松教会巡礼、被災地訪問のほか、巡礼等の機会において、東日本大震災被災者のための祈りやロザリオの祈りを捧げ、献金を行いました。

これからも被災地のことを忘れず、お祈りを続けさせていただきたいと存じます。

発足当初は、「祈りと献金」（被災地のための意向であれば、どの祈りでもよい）の理念でスタートし、福島県浜通り、中通り地域の仮設住宅入居者への無償野菜配布支援のために送金額も毎月ほぼ一定額を送金してきたが、諸般の状況の変化に伴い、当月集まった寄付金は口数にかかわらず全額送金するように変更。

また、この間にNPO法人「福島やさい畑」側でも寄付口の一本化が行われるなどしたため、支援目的も法人自体の活動支援として柔軟に対応、現在に至っている。



新潟からし種の会



柏崎教会

- ・ 5年間は幼稚園バザーに合わせて教会でもバザーを行い、収益を送金してきた。
- ・ 「ひまわりの種プロジェクト」への協力。

ひまわりの種を福島からいただき、各信徒が自分の畑で育て収穫したひまわりを教会に集め、日曜日のミサ後種を採り乾燥して「ひまわりの種プロジェクト」に発送した。6年間、ひまわり油づくりに協力。

東北大震災の被害状況を、難民移住移動者委員会の全国集会に参加し現地に立つことで知ることができた。そこで、声をあげられない移住者の人たちの話が聞けた。継続して支援を取組めたことは良かったと思う。現在のような状況のなかではあるが、心を一つにまだ復興に立ち向かえず苦しんでいる人々にも心を寄せて、祈っていきたいと思う。



高田教会

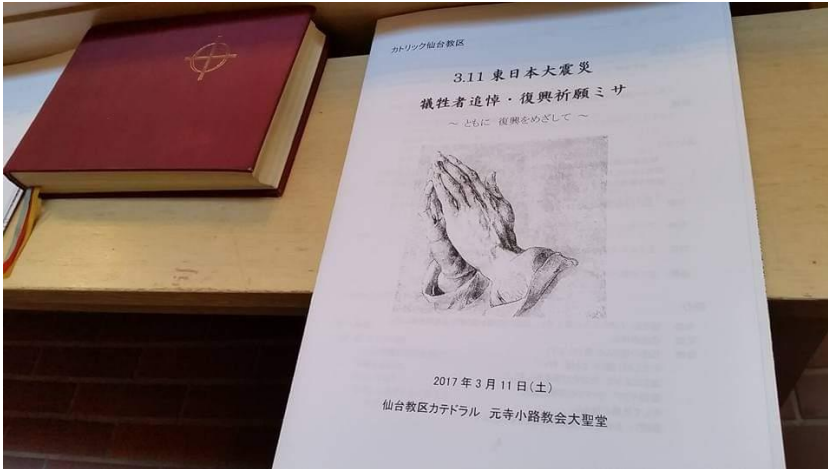
～＊～活動の写真（提供：新潟教会）～＊～

◆信徒の被災地訪問、ボランティア活動より

＊ 2017.3/12 仙台教区カテドラル(元寺小路教会) 復興祈願ミサ参加

お願い：人物が正面に写っている

写真の拡大はお控え下さい



＊ 2017.6 釜石ベース(カリタス釜石) 傾聴ボランティア訪問



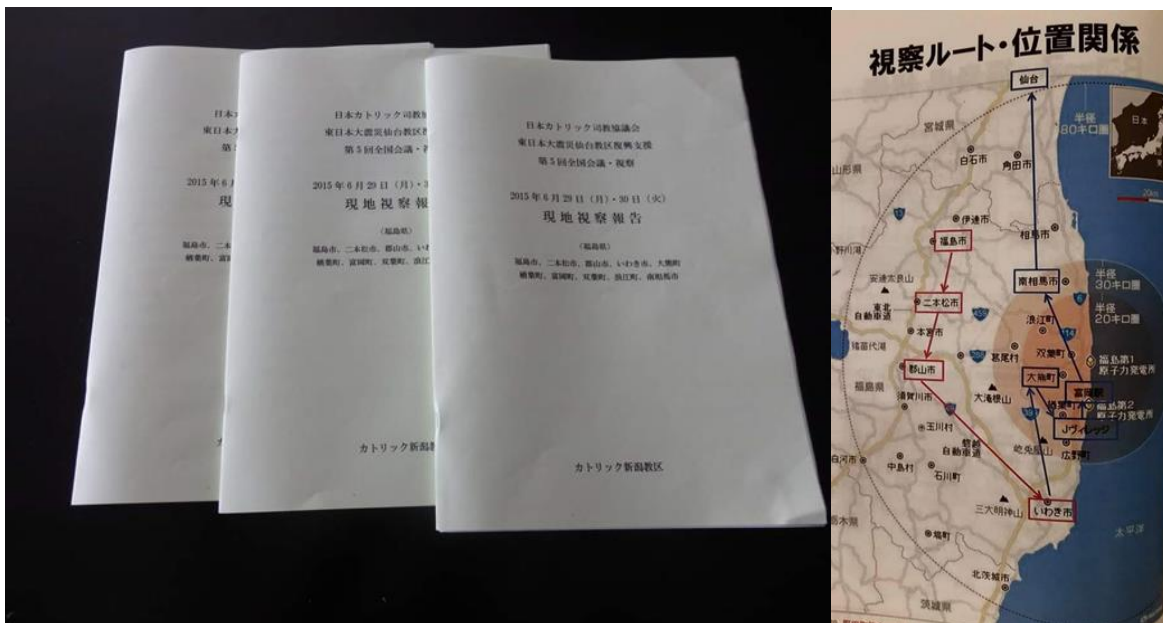
＊ 2018.3/10 仙台教区カテドラル(元寺小路教会) 第5回いのちの光 3.15 フクシマ講演会参加



* 2018.3/11 亘理教会 復興祈願ミサ参加、慰霊碑参拝



* 2015.6/29,30 日本カトリック司教協議会主催 東日本大震災仙台教区復興支援
第5回全国会議・視察に、新潟教区信徒代表として参加



◆綿の花栽培、被災者支援グループへの協力

2016年 綿の花

2020年3月 新潟市避難者交流施設訪問



◆信徒有志グループ「コーヒーコーナー」、信徒有志グループ「東大畑茶寮(手作りスイーツ・惣菜販売)」
の活動の様子 日曜ミサ後、カトリックセンター於 (現在も継続、2020 年は休止中)

